

川俣シルクの魅力を感じてみませんか。人が絹産業に関わっていたともいわれ、近代日本の経済を支えました。現在も伝統的な技術を受け継ぐ企業や、世界一薄い絹織物が国内外から注目を集めています。見学や体験を通して、世界に誇る川俣シルクの魅力を感じてみませんか。

最盛期には町内の3,000～4,000人で、小手姫が神社に祭られています。川俣シルクの魅力を感じてみませんか。

年前の飛鳥時代(6世紀)に始まり、当時の天皇のささき・小手姫(小手子姫)により養蚕や糸紡ぎの技術が伝わったとされています。町内では「小手姫伝説」が語り継がれます。

のなかでも、川俣町で作られた上質な製品はかつて「東洋一のシルク」と呼ばっていました。町での絹織物の歴史は約1400

年もつシルク。古くから高級品として重宝された絹織物は、約1400

年前の飛鳥時代(6世紀)に始まり、当時の天皇のささき・小手姫(小手子姫)により養蚕や糸紡ぎの技術が伝わったとされています。町内では「小手姫伝説」が語り継がれます。

今も絹織物の文化が受け継がれる

川俣の絹織物は薄く・軽く・美しいよ!

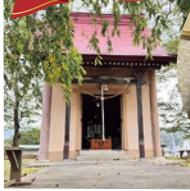
世界に誇る「川俣シルク」を生み出すまち(川俣町)

紺野機業場の工場見学



川俣シルクの伝統的な技法を受け継ぐ紺野機業場。工場見学では機織りの各工程を間近で見ることができます。

はたおり 機織神社



養蚕や機織技術を伝えたとされる「小手姫(小手子姫)」の像が祭られた神社です。

※通常本殿は施錠されています。

川俣町イメージキャラクター 小手姫

かわまた銘品館シルクピア



町の特産品がそろそろシルクピア。町内にある齋栄織物株式会社が作る世界一薄い絹織物「フェアリー・フェザー(妖精の羽)」を使用した製品が人気です。



からりこ館

絹織物の歴史・技術を紹介するからりこ館。気軽にできるコースター手織り体験(大人500円、高校生以下300円)をはじめ、機織りや草木染めの体験教室も開催しています。



福島県復興シンボルキャラクター
キビタン

羽山の森美術館

閉校した小学校を改修した美術館。常設展では絹産業で栄えた時代の作品や、町ゆかりの作家の作品を鑑賞できます。



10月号の南相馬市の
深掘り動画は
こちらから!



川俣町の魅力にもっと触れてみたい方はコチラもおすすめ!

町の復興を支える新たな特産品「かわまたアンスリウム」

ハート型で鮮やかな色合いが特徴のアンスリウム。クリスマスシーズンのプレゼントにおすすめです。

川俣町政策推進課
☎ 024(566)2111



ジューシーな肉質が魅力の川俣シャモを使った「親子丼」

「匠」シルク親子丼は、特産品の川俣シャモと粉末シルクを使った特製ソースの絶妙なうまみを堪能できます。

川俣シャモレストラン Shamoll
☎ 024(565)5250



スタジオプログラムも充実しており、参加された皆さんも無理なく、楽しみながら運動されていました。

これからも、利用者の皆さんのが健康維持をサポートされ、ふれあいや交流の機会を更に広げていただくことを期待しています。

トレーニング設備や多目的スペースなどを備えた中島村の「輝らファイト」を訪問しました。こちらでは、本格的にスポーツに取り組むアスリートの方々だけでなく、健康づくりに取り組む高齢者の方々も、経験豊富なトレーナーの指導の下、元気にトレーニングを行っていました。

中島村の健康づくり交流センター「輝らファイト」を訪問しました。

